

# 5<sup>th</sup> Research Showcase / Tokyo, 22 Feb 2018

## What is Research Showcase?

### Target

英語での発表スキルの向上をめざす全ての歴史研究者

### Style

発表・質疑応答をすべて外国語（基本は英語）で行う

### Aim

発表者・参加者の双方が外国語での学問的コミュニケーションを実践する場を提供すること

### Organizers

Historians' Workshop

<https://historiansworkshop.org/category/research-showcase/>

## Event Details

Date	2018年2月22日（木） 17:30~20:00
Venue	東京大学本郷キャンパス 小島ホール2階第3セミナー室
Format	一人あたり、発表8分+質疑応答7分
Language	英語
Candidates	学部4年生以上の歴史研究者
Presenters	6名（※今回発表のチャンスを得られなかった場合、次回以降優先的に発表の機会が与えられます）
Fee	無料
Deadline	2018年1月12日（金） 17時
How to Apply	以下の応募フォームから送信してください <a href="https://goo.gl/forms/QkPw3NsFagIEgxJh2">https://goo.gl/forms/QkPw3NsFagIEgxJh2</a>

## Guest Commentators



### Maria Pia Paganelli, PhD

トリニティ大学准教授（経済学）

18世紀経済思想史

特にアダム・スミス、デイヴィッド・ヒューム  
貨幣理論、スコットランド啓蒙



### 井野瀬久美恵 博士

甲南大学教授（英語英米文学科）

イギリス帝国史・ジェンダー史

知の帝国主義・紛争解決のための科学

## Merits

### Feedback

事前に発表原稿を提出することで、ワークショップメンバーからライティングや構成についてフィードバックを受けられます。ライティングスキルが向上し、発表にも自信をもって臨めます。当日は2名の講評者からもフィードバックをいただけます。

### Prize

博士号未取得の発表者の中から、最もクリアで説得力のある発表を行った方に **Research Showcase Prize** を授与します。

### Travel Grant

首都圏外からの参加を支援すべく、発表者の若干名には「トラベルグラント」として、交通費・宿泊費を最大3万円まで補助します。